

# 札幌陸協情報

第2号 平成23年10月31日

発行：札幌陸上競技協会

## 札幌陸協 80 周年記念事業の御礼

会長 藤原 正淳

平成23年度のシーズンオフを迎え、皆様審判員各位の絶大なるご協力のもとに、今年度の事業がすべて計画通り執行の上、無事終了できたことに、先ず心から厚く御礼申し上げます。

また、シーズンの終盤、川崎静一郎記念陸上と札幌選手権及び札幌マラソンと三つの大きな大会が続く、一番多忙な時期の9月23日に札幌



陸上競技協会 80 周年記念の式典と祝賀会を挙りましたが、これも皆さまのご協力によりまして、思っていた以上に立派に、華やかに楽しく終始することが出来、本当に有り難く重ね重ね厚く御礼申し上げます。

80周年記念事業の準備は、平成20年10月に開催した記念誌の準備委員会からスタートしましたが、財政的な面を考えて皆様の承認を頂き平成21年度、平成22年度の2年間に亙り各100万円を積み立て、平成23年度の当年分を合わせ計300万円を基礎資金と考えて構想を立てました。会場については、早めにと思い平成22年6月、当初札幌陸協の50周年記念の祝賀会を挙行した札幌ガーデンパレスに当たりましたが、その時点で既に結婚式の予約が入っており、ポールスターに決めたところです。祝賀会、記念誌、記念品、記念事業と頭には色々と記念の行事が浮かびましたが、予算の関係からすぐに総ての物に手を付ける訳には行かず、先ず一番時間の掛かる記念誌から取り掛かりました。お蔭様で、記念誌掲載の協賛広告記念事業としての川崎静一郎記念陸上競技大会や札幌選手権大会のプログラム掲載広告も、関係商社皆さんの大変なご配慮のもとに多大なご援助を頂き、記念品の調達も順調に運び、さらにもう一つの記念事業としての強化第一線級選手による1月グアム合宿への助成など総て計画に載ったものを消化することが出来ました。協賛頂きました各商社の皆さん、祝賀会にご参会頂きました関係各位の皆さん、会員の皆さん、そして実行委員会のご苦勞に対しまして、深く感謝いたすとともに厚く御礼申し上げます。

## 円山競技場改修工事状況

円山競技場の改修工事については、平成21年に写真判定に誤差が生じ、修復しなければ日本記録が誕生したときに公認にならない事が判明しました。

札幌陸上競技協会から札幌市観光文化局スポーツ部に改善の要請をしたところ、円山競技場と厚別競技場等の整備も検討してはどうかとのご意見を頂き、平成23年の検定に合わせた競技場の整備について、多くの要望と見積もりを提出し、何度も担当部局と折衝を重ね。円山総合運動場のテニスコートの改修と合わせて、円山競技場のトラックの改修を平成23年度に行う事となりました。

当初の計画では、平成23年4月から、改修工事に取り掛かる予定でしたが、札幌国際ハーフマラソンの開催が、円山競技場をスタート、フィニッシュで開催されることが、すでに決定されており、変更が出来ないとの事で、ハーフマラソン終了後、直ちに工事に取り掛かることになり、競技場トラックの改修を目的とした工事が7月4日に開始されました。工事は順調に進み、一部課題はあるものの、10月末にトラックのウレタンの敷設工事も終了し、11月初旬にレーンマーキング、ポイントマーキング工事を行い改修工事の終了となり。11月24・25日検定を待つという状況です。

平成24年5月から通常通り、陸上競技会の開催が可能となります。それに先立ち、札幌陸上競技会、財団法人さっぽろ健康スポーツ財団、札幌市の共催で、グラウンド開きを4月末日に開催予定しています。



(10月31日)



(10月31日)

## 厚別公園競技場の改修工事について

平成27年度全国中学陸上大会が札幌市で開催が決定しております。それには第1種競技場に必要サブグラウンドが第3種競技場でなければ開催できません。そのためサブグラウンドの整備のための改修工事が必要となり、今年8月、札幌市環境局みどりの推進部みどりの管理課に、札幌陸協、北海道中体連、札幌市中体連で書類を提出しました。見積もりは、長谷川体育施設、日本体育施設、ニシスポーツから提出されました、9月にも札幌陸協から再度の要請をしておりますが、さらに強い要請が必要と思います。

## 平成23年大会結果一覧

主催・主管	開催日	競技会	会場	参加選手数	審判員数
主催	3月26日	札幌室内陸上競技大会	つどーむ	910人	121人
主催	5月3,4日	札幌記録会第1、2戦、	円山	2,647人	290人
主催	5月5日	第20回豊平川マラソン	真駒内	4,917人	214人
主催	5月7日	第27回札幌小学生陸上記録会	円山	244人	66人
主催	5月7,8日	第24回高体連札幌支部春季陸上大会	厚別	932人	237人
主催	5月14,15日	第40回春季札幌中学陸上	円山	947人	175人
主催	6月11日	札幌記録会第3戦	厚別	996人	63人
主催	6月11日	第50回市民大会リレーカーニバル	厚別	514人	70人
主管	6月18,19日	第57回全日本中学通信陸上札幌大会	厚別	1,371人	133人
主管	6月19日	はまなす全国車いすマラソン大会	真駒内	58人	164人
主催	6月25日	日刊10km札幌記録会	真駒内	256人	69人
主管	6月26日	第1回日刊札幌駅伝	真駒内	74チーム	76人
主管	7月3日	第54回国際ハーフマラソン	円山	367人	135人
主催	7月18日	札幌記録会第4戦	厚別	1,235人	126人
主催	8月13,14日	第43回高体連札幌支部新人大会	厚別	952人	208人
主管	8月28日	2011北海道マラソン	中島・大通	8,650人	263人
主催	9月10日	第20回川崎静一郎記念陸上大会	厚別	438人	81人
主催	9月17,18日	第74回札幌陸上競技選手権大会	厚別	794人	102人
主催	10月1日	札幌記録会第5戦	厚別	1,282人	127人
主催	10月2日	第36回札幌マラソン	真駒内	12,003人	239人

※真駒内; 真駒内セキスイハイムスタジアム  
 ※厚別; 厚別公園競技場  
 ※円山; 円山競技場

## 札幌陸協登録選手全国大会入賞者

2011.10.13

第80回 日本学生陸上競技対校選手権大会	熊本県民	9/9～11
男子 岡 昇 平 順天堂大(国際情報高出) 800m	3位	1.49.49
堤 雄 司 国土館大(拓北高出) 円盤投げ	1位	55.52
女子 右 代 織 江 国土館大(札幌第一高出) やり投げ	3位	50.31
2011日本学生陸上競技個人選手権大会	神奈川平塚	6/17～19
男子 佐 藤 慎 也 北翔大 110mH	8位	14.41(+1.5)
堤 雄 司 国土館大 円盤投げ	1位	55.89 北海道新
女子 大 塚 寛 子 松山大(札幌静修高出) 1500m	7位	4.28.70
第95回 日本選手権	埼玉熊谷	6/10～12
男子 岡 昇 平 順天堂大 800m	4位	1.48.55
堤 雄 司 国土館大 円盤投げ	3位	54.7
女子 泉 知 世 ホクレン 3000mSC	5位	10.18.17
第66回 国民体育大会	山口維新百年	10/7～11
男子 小 池 祐 貴 立命館慶祥高 少B100m	2位	10.63(-0.2)
女子 押 見 真 耶 立命館慶祥高 少共走高脚	8位	1.66

## 2011「グアム・ココ・ロードレース」大会派遣報告

派遣選手団 団長 志田 幸雄

日刊スポーツ豊平川マラソンと日刊札幌駅伝が姉妹提携している、グアム政府観光局「2011グアム・ココ・ロードレース」が、10月16日にグアムで開催されました。

選手団は14日グアム入りしました。15日にグアム政府観光局を表敬訪問し、グアム政府観光局局长らに迎えられ激励を受けました。更にレオパレスにて（1月に80周年記念事業の一環）合宿を実施の為に、施設（競技場、トレーニング場、宿泊所）見学し打ち合わせを実施致しました。

大会は16日、ホテルのロビーに午前3時30分集合、暗い中の午前4時開会式、5時スタートで、選手は意欲満々で、初派遣の駅伝に出場した北海道文教育大学（北海道教育大学と北海道文教大学の混成）チーム（1走佐藤翔さん、2走神直之さん、3走橋本純一さん、4走木村直也さん）が大会新記録で2位と10分の差でブッチギリ圧勝でした。3位でタスキを受けた2走の神さんが2人を抜き、そのまま独走でした。ハーフマラソンに派遣された2選手は、豊平川マラソンの40歳代で優勝した、男子の後藤則史さんと女子の中里淳子さんが出場しました。後藤則史さんが1時間14分20秒、40歳代で優勝し総合は5位、中里淳子さんが1時間27分37秒、40歳代で見事優勝し、総合では第2位に入りました。賞金は駅伝チームに1000ドル、女子総合2位の中里さんに500ドルが渡されました。異国の地での大活躍でした。

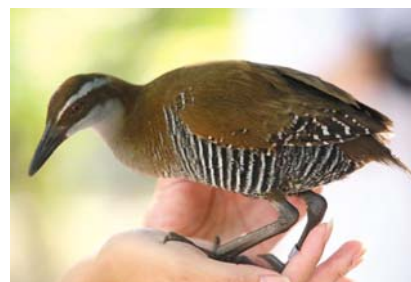
ゴール直後からスコールがあり、経験のない雨で、スコールは1時間以内で終わるのが普通ですが、今回は2時間続き、それも小雨になりましたが、また雷が鳴った後に更にスコールになり、スコールの時は気温も下がり寒さを感じました。スコールが過ぎ去ると、今度は蒸し暑く30度を超す暑さで体調維持に大変な状況でした。

表彰式には、優勝、入賞は事前にわかっておりましたので、心待ちにしておりました。発表を待っても名前は呼ばれず、大会本部に異議を申し出ました。他の方々からもクレームがあり、再調査するとのことで、表彰式は途中で中断しました。結果的には当日表彰式は取りやめとなり、ホテルに戻りました。

当初からレース後に祝勝会を企画しておりましたので、予定通り正式ではありませんでしたが、全員の健闘を称え、ビールで祝杯をあげ地元料理に舌鼓を打ちました。その後選手達は、買い物、ビーチ散策等、グアムを満喫しました。夕方に大会関係者がホテルを訪れ、成績の確認（上記の順位、タイム）ができたと言うことで、ホテルのロビーでの表彰式が行なわれました。選手達のうれしさもひとしおだったようです。「楽しかった」「又出場したい」「やる意欲が湧いてきた」「出場の機会を与えていただいた関係者に感謝致します」等々の感想を北国のトリオは声をそろえていました。

17日に千歳空港にて解団式を行い、今後の活躍を祈念し解散を致しました。

尚、2012年の5月5日豊平川マラソン、駅伝大会にはグアムから選手団が派遣されますようお願いしております。さらに今後とも両国の友好がますます発展することを祈っております。



大会名の（ココ、バード）

## 第 11 回全国身体障害者スポーツ大会報告

札幌市選手団指導コーチ

駒澤 博

第 11 回全国身体障害者スポーツ大会は、2011年10月22日から24日まで山口県で行われました、札幌選手団は総勢44名うち陸上競技参加者は13名で、山口市の維新百年記念公園陸上競技場で各競技に日頃の練習の成果を発揮し13名中12名が3位以内入賞という輝かしい成果をあげました。10月20日札幌市役所で選手団の結団式を行い、千歳～宇部空港から山口入りし、21日公式練習、22日開会式、競技、23日競技、24日競技・閉会式、25日宇部空港～千歳空港 札幌市役所で解団式という、ハードなスケジュールでしたが、選手たちは、疲れも見せず全力で競技し、無事帰札幌しました。

札幌陸協からは、私と、川上重子さんが指導コーチとして、選手を引率し、選手が安心して競技に集中して参加できるよう大会関係者と連絡、確認、選手のコンディションの調整など、あわただしい大会でしたが、選手の頑張りで好成績をあげてくれたことが何よりの成果でした、今後とも身体障害者スポーツの発展を、札幌陸協の一員として望んでいます。

### 札幌陸協行事予定（12月～1月）

12月23日（金）北海道ハイテクAC小学校陸上競技クリニック

日時：12月23日 9:00～13:00

場所：北海道ハイテクノロジー専門学校インドアスタジアム

対象：札幌市の小学4年生以上

人数：60名募集

指導：北海道ハイテクAC中村宏之監督、他所属選手

1月11日（水） 監査

1月13日（金） 委員長会議

1月20日（金） 理事会

1月29日（日） 総会